

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
管理会計論Ⅱ	～218	3・4年生・後期	2単位	選択	春日 克則	
履修の前提条件	「会計学入門」や「簿記」を履修済か同程度の知識を有することが望ましいが、何よりも、企業の経営・管理に興味を持つことが必要である。					
授業概要 (Course Outline)						
「管理会計論Ⅱ」では、まず、1年を超える期間の投資計画を扱う戦略的意思決定と、日常の業務から生じる意思決定を評価する業務執行的意思決定を学ぶ。次に、管理会計の新たな分野である戦略会計、つまり、経営管理者が行う戦略策定と遂行という、新たな任務と結びついた管理会計の手法を学習する。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture 人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					○
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					○
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
	生涯学習力 Lifelong Learning					○
到達目標 (Objectives)						
経営管理のために、会計情報をどのように活用すべきかについて理解する。具体的には、設備投資の意思決定である戦略的意思決定と、一部品種の生産中止などの意思決定である業務執行的意思決定について理解することができる。また、原価企画やABC(活動基準原価計算)、それにバランスト・スコアカードなどの特別な意思決定のための諸技法を学ぶことができる。						
事前学習の内容	テキストの関連するページを学習し、分からない点が自覚できるようにしておく。					
事後学習の内容	毎回、練習問題を提出・返却するので、指摘された課題に取り組む必要がある。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
授業では、抽象的な理論を具体的な課題に応用できるよう、毎回、事例や練習問題に取り組む。その成果を、授業の最後に提出してもらい、翌週添削して返却する。課題を提出する際には、授業中に疑問に思ったことや、わからなかったことを記入する。また、返却された課題には、私のコメントが書いてあるのでお互いわかり合えるまで、キャッチボールを行いたい。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
木曜日の5時限目に、非常勤講師室で対応する。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
外部試験:日本商工会議所簿記検定1級「原価計算」の基礎となる授業である。 学習の確認:ポートフォリオ(科目別履修確認チェック表)に必要事項を記入して、指定日時に、春日までメールで提出すること。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	テストを見直さない子は成績が悪いーPlan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)サイクルー		
第2回	日常業務の意思決定は原価で考える		
第3回	新規注文を引き受けるのか、断るのかー差額原価収益分析①ー		
第4回	製品をどのような販売量の組合せで売ることか(最適セールス・ミックス)ー差額原価収益分析②ー		
第5回	戦略的意思決定はキャッシュ・フローで考える		
第6回	今日の1000円と明日の1000円はどちらが価値がある?ー貨幣の時間的価値ー		
第7回	投資プロジェクトの評価①ー時間的価値を考慮しない方法ー		
第8回	投資プロジェクトの評価②ー時間的価値を考慮する方法ー		
第9回	中間テスト(これまで学習した項目の理解度テスト)		
第10回	企画・設計・生産・販売の全ての段階で原価引下げを行うー原価企画ー		
第11回	製品はみんな、いつか売れなくなるーライフサイクル・コストイングー		
第12回	製品の品質を貨幣で表すー品質原価計算ー		
第13回	伝統的な原価計算から活動基準原価計算(ABC)へ		
第14回	多角的な業績評価を行うーバランスト・スコアカードー		
第15回	管理会計論Ⅱのまとめ		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
基本管理会計	建部宏明・山浦裕幸 長屋信義	同文館出版	978-4-495-1981-6
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
・管理会計論[第六版]	櫻井通晴	同文館出版	978-4-495-16146-0
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験40%、中間テスト20%、毎回の課題提出40%として評価する。講義の理解を深めるために、各回ごとに課題の提出、添削、返却がなされるが、この課題への取り組みは、評価のウエイト(40%)に留まらず、テスト問題を解くための大きな手助けとなる。			